

経営革新計画の支援などによる 新事業への取り組みから販路開拓へ

課題 新技術の需要は十分 新たな販路拡大が急務

発泡スチロール、プラスチックなどの緩衝材や梱包資材、プラスチック製品の加工製造を手がける株式会社江永化成は、平成18年から平成21年にかけて環境に優しい古紙を主原料とした発泡緩衝剤の難加工特殊技術を開発。「コーエーセレクト」というブランドで、矢崎総業、サンパックなどを顧客に自動車関連部品、資材、農産物用梱包材の製造販売を行っている。また最近では、これらの技術を活かし、マウスなど実験動物用の敷材も開発している。

さらに平成30年からは新事業として、通気性に優れ、エチレンガスの蓄積を抑える包装材の開発に取り組んでいる。これはマンゴー、モモなど果物の運搬時に、通気性の悪い包装材を用いることでエチレンガスが蓄積して鮮度が低下することを回避しようというもの。この新技術については需要は十分であると判断され、販路拡大への戦略が求められる。また独自技術を育てていくために特許戦略も必要となると思われる。

支援 広範囲な情報提供で 販路拡大を積極支援

大井川商工会では、同社に対して、以前から経営相談に対応していた。具体的には専門家派遣制度を利用して、経営計画や資金繰りについて支援。さらに小規模事業者持続化補助金を活用してホームページ、パンフレットなどを作成し、販路拡大をサポートしてきた。

また新事業の立ち上げに際しては、商工会指導員が経営力向上計画を立案し、経営革新計画の作成を支援した。それを基に、金融機関経由でも経営革新計画のフォローアップ調査を含む定期的なヒアリングの実施など、継続的な支援活動が行われるようになっていく。

こうした支援による成果としては、まずホームページを介しての問い合わせの増加が挙げられるだろう。これまで同社はホームページを作成していなかったが、新たに作成した結果、問い合わせが急増しているのである。

また、事業計画の「見える化」を目的として作成した経営力向上計画承認や経営革新計画は、ものづくり補助金申請の審査で加点材料となり、それが採択にこぎつけられたひとつ



発泡スチロールの加工例

の要因になったとも考えられる。

こうした商工会の支援に同社の地道な研究、販路拡大努力が重なって、実験動物用敷材の分野への参入も可能になったといえるだろう。

今後はものづくり補助金の採択で、果物の包装材など、新たな分野での商品の増産も可能になると思われる。商工会としては、そうした事業拡大を支援するために、広範囲な情報提供を続けていきたいと考えている。

支援の経過

期間	支援内容
H26年7月	持続化補助金の申請支援
H27年6月	専門家派遣制度を利用して経営分析
H28年6月	ものづくり補助金の申請支援
10月	経営革新計画の策定支援
H30年2月	経営力向上計画の策定支援

会社概要

会社名：株式会社江永化成
 所在地：静岡県焼津市吉永2109-21
 電話番号：054-622-3376
 URL：http://koueikasei.com/
 代表者名：鈴木且久
 創業年：昭和59年
 年間売上高：9786万円（令和元年）
 従業員数：15名
 商工会名・担当者名：大井川商工会・大石祐輝